

ご寄付やスポンサー支援、物品支援等、
本学運動部へのご支援よろしくお願いたします。
連絡先： ml_tsc@toyo.jp



Youtube



Instagram

陸上競技部 短距離部門

**第109回日本陸上選手権において、男子400mハードルで小川 大輝選手が優勝、
男子走幅跳で藤原 孝輝選手が3位に入賞しました**

2025年7月4日（金）から7月6日（日）にかけて、
東京・国立競技場で「第109回日本陸上競技選手権大会」が開催されました。
大会最終日において男子400mハードルでは小川 大輝選手（ライフデザイン学部4年）が
48秒61の記録で優勝、また、男子走幅跳では藤原 孝輝選手（総合情報学研究科1年）が
7m97を跳び、3位に入賞しました。

ボクシング部

団体として、女子初優勝しました！

関東大学女子トーナメント戦において4名が優勝し、
団体として日本体育大学の6連覇を阻止し東洋大学が初優勝しました。
また、女子の最優秀選手賞を西中 結菜選手（経営学部4年）が受賞し、
優秀選手賞を女子キャプテンの原田 美琴選手（ライフデザイン学部4年）が受賞しました。

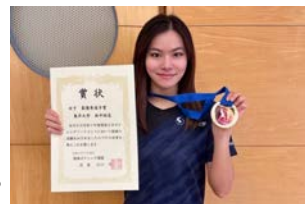
【女子キャプテン 原田 美琴選手（優秀選手賞）のコメント】

関東大学女子トーナメント戦を終え、東洋大学女子ボクシング部として史上初となる
団体優勝を成し遂げられたことを、何よりも光栄に思います。
この快挙は、選手一人ひとりが自らの役割と責任を全うした結果であると同時に、
日頃から私たちを支えてくださる大学関係者、監督、OB、そして応援して下さる全ての
皆様の温かいご声援があったからこそ成し遂げられたものです。
また、今回の優勝を通じて、当ボクシング部に対する周囲
からの評価を高め、多大なるご支援をいただいている大学へ
少しでもご恩返しのできたのであれば、
これに勝る喜びはありません。この経験を糧に、
部員一同、更なる高みを目指して精進してまいります。



【西中 結菜選手（最優秀選手賞）のコメント】

今回、最優秀賞を受賞することができ、とても嬉しく思っ
ています。トーナメント戦で初めて賞をいただけたことが、
何よりも嬉しいです。この受賞を励みに、
今後はさらに高みを目指して努力を重ねていきたいと思
います。



ボクシング部

関東大学ボクシングリーグ戦2部優勝、入替戦も勝利し1部昇格決定！

ボクシング部は、7月12日に行われた大東文化大学戦を
5-2で勝利し、関東大学ボクシングリーグ戦
2部優勝となりました。
この結果、7月20日に日本大学との1部・2部の入替戦を戦い、
5-2で勝利し、関東大学ボクシングリーグ戦の1部リーグへの
昇格を決めました。



サッカー部
(女子部門)

田中 結衣選手のWEリーグ ちふれASエルフェン埼玉 への入団内定!

2025年7月15日(火)、本学サッカー部(女子部門)に所属する
田中 結衣選手(食環境科学部4年)のWEリーグ ちふれASエルフェン埼玉 への
2026シーズン加入内定が決まりました。

また、「2025年JFA・WEリーグ/なでしこリーグ特別指定選手」として
公益財団法人日本サッカー協会より承認されています。

【田中 結衣選手のコメント】

ここまでこれたのは、東洋大学での日々の活動の中で、自分自身が大きく成長できたから
こそだと思っています。

指導者、チームメイト、環境、全てに恵まれてサッカーをすることができました。

ここで得たものが今回WEリーグという新たな挑戦につながったと強く感じています。

これまでに支えてくださった全ての方々へ心より感謝申し上げます。

恩返しができるよう、東洋大学で闘える期間も、

新たなチームでも全力で挑み続けます。

今年の目標は真の日本一になること。

目指すべき場所に向かって、さらに成長し、

より強くなった姿で戻ってこれるよう努力していきます。

必ず日本一のチームに導きます。

今後とも、温かい応援をよろしくお願いいたします。



東洋大学

一流アスリートであり、大学院生!

これからの人生を見据えた「新しい学び・リスクリング」の重要性

アスリートにとっての新しい学び、そこにある意義とは。

学生時代に箱根駅伝で三度の総合優勝に貢献、4年連続5区区間賞を獲得し山の神と称された
柏原 竜二さん。東京オリンピック競泳400m個人メドレー・200m個人メドレーにおいて
日本女子史上初の2冠を達成した大橋 悠依さん。そして、パリオリンピックレスリング女子
76kg級において日本人初の金メダルを獲得した鏡 優翔さん。現在東洋大学の大学院生である
お三方に、大学院に入学したきっかけや今後のキャリアについてお聞きしました。



柏原 竜二さん



大橋 悠依さん



鏡 優翔さん

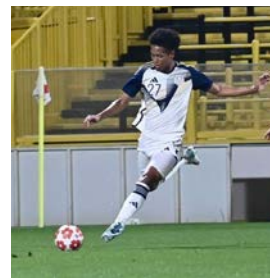
インタビューは
こちら



サッカー部
(男子部門)

岡部 タリクカナイ颯斗選手がU-22日本代表メンバーに選出されました!

2025年7月17日、JFA(公益財団法人日本サッカー協会)から「U-22日本代表メンバーの
発表があり、本学サッカー部(男子部門)に所属する
岡部 タリクカナイ颯斗選手(国際観光学部1年)が選出されました。
U-22日本代表は、ウズベキスタンのタシュケントで開催される
「Mirabror Usmanov Memorial Cup 2025」に臨むためのチームで、
7月25日(金)にサウジアラビア代表と、
7月28日(月)にウズベキスタン代表と試合を行いました。



東洋大学

東洋大学のスポーツシンボルマークの名称が「Win-T(ウィンティー)」に決定しました!

大学スポーツを「する」人、「みる」人、「ささえる」人
すべての人が一体感を持って運動部への応援を盛り上げていくために
BEAMS SPORTS(ビームス スポーツ)のデザインにより制作した、
東洋大学スポーツシンボルマークの正式名称が
「Win-T(ウィンティー)」に決定しました。
この名称は、東洋大学の学生を対象に実施した公募により
決定されたもので、75件の応募の中から選出されました。



サッカー部
(男子部門)

サッカー天皇杯(3回戦)はJ1のアルビレックス新潟に勝利しベスト16入り!

サッカー天皇杯(天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会)にアマチュアシードとして出場しているサッカー部(男子部門)は、2025年7月16日デンカビッグスワンスタジアム(新潟県)で行われた3回戦で[J1]アルビレックス新潟と対戦し、2対1で本学が勝利を収めました。1つの大会で大学チームがJ1に2勝するのは史上初めてで、前回に引き続きテレビで生中継されたこともあり、本学を称賛するコメントが多くありました。前半のアドিশョナルタイム2分に、村上 力己選手(国際観光学部4年)が先制ゴール、後半開始4分に同点ゴールを許すも、12分後には湯之前 匡央選手(国際観光学部4年)が勝ち越しゴールを決めました。相手の猛攻にも冷静に対応し、本学の底力を見せた結果、見事ベスト16入りを果たしました。



本学では現地での応援団を結成すべく、白山と朝霞キャンパスから応援ツアーバスを運行。サッカー部員、学生・教職員約160名が参加するとともに、雨水会並びに校友会新潟支部の皆様にも応援のサポートをいただきました。同時に、白山・赤羽台・朝霞・川越の各キャンパスでパブリックビューイングを開催し、全キャンパス合わせて約380名が集まりました。白山キャンパスでは、矢口学長、澤口副学長、早川副学長とともに学生・教職員およそ150名が観戦。学生による大きな声援によって、まるで現地で応援しているような雰囲気となりました。

陸上競技部
短距離部門
水泳部

FISUワールドユニバーシティゲームズで
柳田 大輝選手と藤原 孝輝選手がメダル獲得・大石 凌功選手が入賞!
ほか出場選手も大健闘しました

FISUワールドユニバーシティゲームズは、国際大学スポーツ連盟(FISU)が主催する学生を対象にした国際総合競技大会で、2年ごとに開催されます。2025年大会は、ドイツ・ラインルールで2025年7月21日~26日に開催され、本学から5名の在学生選手が出場しました。

柳田 大輝選手と藤原 孝輝選手がメダル獲得するとともに、大石 凌功選手が入賞を果たしました。また、他の選手も世界の大舞台で最後まで大健闘しました。

【陸上】

- 男子100m
柳田 大輝選手(文学部4年)【結果】3位:銅メダル獲得
大石 凌功選手(健康スポーツ科学部3年)【結果】6位入賞
- 男子400m
平川 慧選手(健康スポーツ科学部2年)【結果】8位
- 男子走幅跳
藤原 孝輝選手(大学院総合情報学研究科1年/法学部企業法学科卒)
【結果】2位:銀メダル獲得

【競泳】

- 男子200mバタフライ
福田 圭吾選手(国際観光学部3年)【結果】8位

陸上競技部
長距離部門

鉄鉋応援サイトを公開しました!
ご声援よろしくお願いします。



サイトは
こちら

水泳部

**世界水泳選手権シンガポール2025で松下 知之選手がメダル獲得・西川 我咲選手が入賞！
ほか出場選手も健闘しました！**

7月11日からシンガポールで開催されている世界水泳選手権シンガポール2025 (World Aquatics Championships Singapore 2025) において、競泳は7月27日～8月3日までの8日間にわたって行われ、大会最終日の8月3日に行われた男子400m個人メドレーの決勝で、松下 知之選手 (国際観光学部2年) が銀メダル、西川我咲選手 (経営学部1年) が4位に入賞しました。また、ほかの出場選手も世界の大舞台で大健闘いたしました。

【出場選手と結果】

• 男子個人メドレー

松下 知之選手 (国際観光学部2年)

【結果】200m個人メドレー6位入賞、400m個人メドレー2位：銀メダル獲得

西川我咲選手 (経営学部1年)

【結果】400m個人メドレー4位入賞

牧野 航介選手 (経営学部3年)

【結果】200m個人メドレー8位

• 男子背泳ぎ

竹原 秀一選手 (健康スポーツ科学部3年)

【結果】200m背泳ぎ予選19位

• 女子平泳ぎ

青木 玲緒樹選手 (ミズノ所属/経営学部2017年卒業)

【結果】100m平泳ぎ予選20位

ラグビー部

「川越ラグビーフェスティバル」にラグビー部が協力しました

埼玉県川越運動公園陸上競技場内にラグビーゴールの設置が可能となり、本格的なラグビー競技が実施できるようになったことを記念し、2025年8月2日に川越市主催による川越ラグビーフェスティバルが開催されました。

本学・川越市・埼玉パナソニックワイルドナイツの3者は、ラグビーフットボールを通じた地域振興等に関する協定を2021年に締結していることから、本学ラグビー部や埼玉パナソニックワイルドナイツが協力。

加えて、ジャパンラグビーリーグワンに所属する埼玉県内のチームに所属する選手なども運営に協力しました。また、特別ゲストとして、本学卒業生で在学中ラグビー部に所属していた俳優の高橋 光臣さんをお迎えしました。

イベントには市内で募集した幼児・小中学生や市内ラグビーチームなどが参加。

コンバージョンキック体験会や初心者ラグビー体験会が行われ、本学の選手やジャパンラグビーリーグワンに所属する選手がやさしく丁寧に指導しました。

参加者は、ラグビーの楽しさに触れながら、気持ちの良い汗を流しました。

また、多くの方から本学選手の活躍を応援するメッセージをいただきました。

イベントには本学矢口学長も参加。開会式では、『本学は川越にキャンパスがあり、ラグビー部員や学生が市民の皆様にお世話になっています』と謝辞を述べるとともに、『ラグビーを楽しんでいただき、ラグビーを通じて世界に明るい喜びをもたらしてくれることを願っています。』と挨拶しました。



サッカー部
(男子部門)

天皇杯での応援ありがとうございました!

サッカー天皇杯(天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会)にアマチュアシードとして出場しているサッカー部(男子部門)は、2025年6月11日の2回戦で[J1] 柏レイソルに、7月16日の3回戦で[J1] アルビレックス新潟に勝利。
4回戦は8月6日にノエビアスタジアム神戸で、[J1] ヴィッセル神戸と戦いました。
前半13分にゴールを先制されたものの、36分で山之内 佑成選手(国際観光学部4年)のアシストにより湯之前 匡央選手(国際観光学部4年)が同点のゴールを決めて追いつきました。
後半でも決着がつかず延長戦に突入。
延長戦後半に逆転のゴールを許し、2-1で惜しくも勝利を逃しました。

本学では前回に続き、現地での応援団を結成。
男女サッカー部員や本学学生・教職員約200名が参加するとともに、
雨水会並びに校友会の皆さまにも応援のサポートをいただきました。
同時に白山・川越の各キャンパスでもパブリックビューイングを開催し、
現地さながらの応援を繰り広げました。
天皇杯での経験は非常に大きなものとなりました。



ボクシング部

古藤 昇大選手がアジアンボクシング選手権大会で優勝しました!

8月1日から8月11日にタイのバンコクで開催された
アジアンボクシングU19&U22ボクシング選手権大会 バンコク-2025
(ASIAN BOXING U19&U22BOXING CHAMPIONSHIP BANGKOK-2025)に
ボクシング部の古藤 昇大選手(経営学部 4年)が
出場し、U22 男子50kg級で優勝しました。
また、吉田 姫菜選手(経済学部 3年)がU22女子51kg級で
出場し、健闘しました。



サッカー部
女子部門

北岡 梨愛里選手・稲山 美優選手・大箸 桜子選手が Lion City Sailors Women Football Club
(シンガポール女子1部リーグ)への期限付き移籍が決まりました

サッカー部(女子部門)に所属する、北岡 梨愛里選手(食環境科学部4年)
・稲山 美優選手(食環境科学部4年)・大箸 桜子選手(食環境科学部3年)が、
Women's Premier League (シンガポール女子1部リーグ)
Lion City Sailors Women Football Clubへの期限付きでの移籍が決まりました。
3選手は8月25日~31日にマレーシアで開催される
AFC Women's Champions League™ 2025/26 Preliminary Stageに出場する予定です。

【各選手のコメント】

北岡 梨愛里選手(ポジション MF)

この度、Lion City Sailorsに期限付き移籍をする事になりました。
北岡梨愛里です。この貴重な機会を無駄にすることなく、
チームの力になれるよう精一杯、頑張ります。応援よろしくお願いします。



稲山 美優選手(ポジション MF)

この度、期限付きでLION CITY SAILORSでプレーさせていただくことになりました。
このような機会をいただけたことに感謝し、
自分の持ち味を発揮できるように頑張ってきます。応援よろしくお願いします。



大箸 桜子選手(ポジション DF)

この度、Lion City Sailorsでプレーする機会をいただき、
とても嬉しく思います。
東洋大学、日本を背負っていることに責任と覚悟を持ち、
短い期間ですが、チームの勝利に貢献できるよう全力で闘います。
そして、選手として、人として成長して帰ってきます。応援よろしくお願いします。



岡部 タリクカナイ颯斗選手が2度目のU-22日本代表メンバーに選出されました

2025年8月29日、JFA（公益財団法人日本サッカー協会）から「U-22日本代表メンバー・スケジュール AFC U23アジアカップ サウジアラビア 2026予選」の発表があり、本学サッカー部（男子部門）に所属する岡部 タリクカナイ颯斗選手（国際観光学部1年）が選出されました。岡部選手は、ウズベキスタンのタシュケントで開催される「Mirabror Usmanov Memorial Cup 2025」に臨むためのチームに次いで2度目の選出となりました。U-22日本代表は、ミャンマー/ヤンゴンで開催される「AFC U23アジアカップ サウジアラビア 2026予選」に臨むためのチームで、9月3日(水)にアフガニスタン代表と、9月6日(土)にミャンマー代表と、9月9日(火)にクウェート代表と試合を行い、ミャンマー戦では先制点を挙げる活躍となりました。



東京2025世界陸上の日本代表に小川 大輝選手・柳田 大輝選手と卒業生6名が選ばれました

2025年9月2日、日本陸上競技連盟は9月13日～21日に東京・国立競技場で開催される「東京2025世界陸上競技選手権大会（東京2025世界陸上）」の日本代表選手団を発表しました。選手団には、本学から在学生の小川 大輝選手（ライフデザイン学部4年）、柳田 大輝選手（文学部4年）とともに卒業生6名が選ばれました。また、法学部教授で陸上競技部短距離部門の土江 寛裕コーチがシニアディレクター、本学卒業生でありエディオン女子陸上競技部監督の沢柳 厚志氏がコーチに選出されました。

【出場選手と出場種目】

在学生



- ・ 小川 大輝 選手
（ライフデザイン学部4年）
400mハードル【結果】 予選6位



- ・ 柳田 大輝選手
（文学部4年）
男子4x100mリレー【結果】 6位入賞

卒業生

- ・ 川野 将虎 選手（総合情報学部・2021年3月卒業/旭化成所属）
男子35km競歩【結果】 18位
- ・ 桐生 祥秀 選手（法学部・2018年3月卒業/日本生命所属）
男子100m【結果】 予選6位 男子4x100mリレー【結果】 6位入賞
- ・ 佐藤 早也伽 選手（食環境科学部・2017年3月卒業/積水化学所属）
女子マラソン【結果】 13位
- ・ 津波 響樹 選手（ライフデザイン学部・2020年3月卒業/大塚製薬所属）
男子走幅跳【結果】 17位
- ・ 中島 佑気ジョセフ 選手（総合情報学部・2024年3月卒業/富士通所属）
男子400m【結果】 6位入賞 男子4x400mリレー【結果】 予選6位
- ・ 吉津 拓歩 選手（ライフデザイン学部・2021年3月卒業/ミキハウス所属）
男女混合4x400mリレー【結果】 8位入賞

**第101回日本学生選手権水泳競技大会において松下 知之選手、竹原 秀一選手が2冠達成！
ほか出場選手も活躍しました**

東京アクアティクスセンターで開催された第101回日本学生選手権水泳競技大会にて松下 知之選手（国際観光学部2年）が男子200m個人メドレーと男子400m個人メドレーで優勝し、2冠を達成しました。また、竹原 秀一選手（健康スポーツ科学部3年）も男子100m背泳ぎと男子200m背泳ぎを制し、同じく2冠を獲得しました。そのほかの出場選手も健闘し、多数の選手が入賞しました。

【竹原 秀一選手（健康スポーツ科学部3年）のコメント】

個人二冠は東洋大学へ貢献できたと思うので良かったと思います。個人的にはメドレーリレーと800mリレーが両方2番だったことがとても悔しく来年の大阪インカレで必ず男女全員でリベンジしたいと思います。



【松下 知之選手（国際観光学部 2年）のコメント】

この度はたくさんの応援、本当にありがとうございました。みなさんの声援のおかげで、200m個人メドレーと400m個人メドレーで優勝し、2冠を達成することができました。インカレは個人競技でありながら、同時にチームで戦う団体戦のような大会で、とても熱気にあふれたお祭りのような雰囲気でした。昨年は思うような結果を残せず悔しい思いをしましたが、今年は引退される4年生のためにも強い気持ちで臨むことができました。リレー種目では優勝には届きませんでしたが、これからもさらなる高みを目指して精進しますので、応援よろしくお願いたします。



入賞選手一覧

種目	順位	氏名
男子200m自由形	4	坊岡 優真
男子400m自由形	1	西川 我咲
男子100m背泳ぎ	1	竹原 秀一
男子200m背泳ぎ	1	竹原 秀一
男子100m平泳ぎ	6	釜田 駿
男子200m平泳ぎ	2	牧野 航介
男子200mバタフライ	5	福田 圭吾
男子200m個人メドレー	1	松下 知之
	3	牧野 航介
男子400m個人メドレー	1	松下 知之
	2	西川 我咲
	5	福田 圭吾
男子4x100mフリーリレー	5	松下 知之、牧野 航介、坊岡 優真、西川 我咲
男子4x200mフリーリレー	2	松下 知之、牧野 航介、坊岡 優真、西川 我咲
男子4x100mメドレーリレー	2	竹原 秀一、釜田 駿、松下 知之、牧野 航介
女子100m背泳ぎ	2	佐々木 美莉
女子100mバタフライ	6	先川原 幸奈
女子4x100mフリーリレー	6	首藤 優里、芳村 りこ、先川原 幸奈、水野 響
女子4x100mメドレーリレー	4	佐々木 美莉、飯田 愛心、遠山 乃梨、首藤 優里

**湯之前 匡央選手（国際観光学部4年）が
2026シーズンカタールレ富山加入内定 / 2025 JFA・Jリーグ特別指定選手に認定**

サッカー部（男子部門）に所属する湯之前 匡央選手（国際観光学部4年）が、カタールレ富山の2026シーズン新加入内定とともに、2025年JFA・Jリーグ特別指定選手としてJFA（公益財団法人日本サッカー協会）から認定されました。

【湯之前選手のコメント】

2026シーズンよりカタールレ富山に加入することになりました、東洋大学の湯之前 匡央です。どんなときも支え続けてくれた家族をはじめとする、自分に携わっていただいた全ての方々へ感謝申し上げます。強い覚悟と野心を持ち富山の勝利のため懸命に闘います。カタールレ富山のファン・サポーターの皆様熱い応援よろしくお願いたします。



サッカー部
男子部門

総理大臣杯全日本大学トーナメント初優勝！～フェアプレー賞も受賞しました～

2025年9月3日～13日に岩手県・宮城県の各会場で開催された「2025年度 第49回 総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント」に出場した本学サッカー部（男子部門）は決勝まで勝ち進み、13日の関西学院大学との試合を1-0で制し、総理大臣杯での初優勝を果たしました。
また、各種全国大会の上位進出チームの中から、フェアプレー精神に溢れるチームに表彰される「フェアプレー賞」は本学が受賞しました。
皆さまからの熱い声援ありがとうございました。
引き続き応援をよろしくお願いいたします。



ボクシング部

西中 結菜選手（経営学部4年）が2025WB世界選手権リバプール大会に出場しました

9月4日から9月14日に開催された2025WB世界選手権リバプール大会（WORLD BOXING CHAMPIONSHIPS LIVERPOOL 2025）にボクシング部の西中 結菜選手（経営学部4年）が女子51kg級で出場し、2回戦まで進みました。

【試合結果】

初戦：9月6日（土）	2回戦：9月9日（火）
vs オーストラリア代表	vs インド代表
判定5-0でポイント勝ち	判定0-5でポイント負け



【西中 結菜選手のコメント】

初戦はオリンピック選手に勝利しましたが、続く2回戦では、世界選手権を2度制したインド代表に判定負けを喫しました。2・3ラウンドでの減点が響き、全力を出し切れず、悔しい結果となりました。今までで一番努力した大会だっただけに、自身の力不足を痛感しています。次戦に向けて、また精一杯がんばります。たくさんの応援、本当にありがとうございました。



内定情報

サッカー部

26' 女子部門

田中 結衣選手(食環境科学部4年)
ちふれASエルフェン埼玉
(JFA・WEリーグ所属)

26' 男子部門

湯之前 匡央選手(国際観光学部4年)
カタール・富山
(J2)

ABOUT TSC

TOYOスポーツセンターでは応援文化醸成のため、学生アンバサダーによる情報発信を行っております。

学内掲示ポスターをはじめとしてInstagramやYouTubeに試合情報を随時投稿してまいりますのでぜひご覧ください。

Instagram @toyo_univ

YouTube @toyosportschannel

